



岩野田・岩野田北

コミバス通信

第10号

【編集・発行】岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会

【発行日】令和4年9月1日

みんなの

ぐるっと Bus バス

出発進行!

本格運行開始



▲左から、日本タクシー山田常務取締役、二村バロー粟野店長、柴橋市長、松久岩野田北自治会連合会長、服部岩野田自治会連合会長によるテープカット。

▶運営協議会の宮田事務局長の合図で、出発進行!! 岐阜新聞、中日新聞、CCNの取材もいただきました。



※記念品として、JAぎふ岩野田支店から「ボールペン」を、社協岩野田北支部から「シトラスリボン、クリアファイル」をご提供いただきました。

本格運行出発式 4月7日にバロー粟野店で開催しました

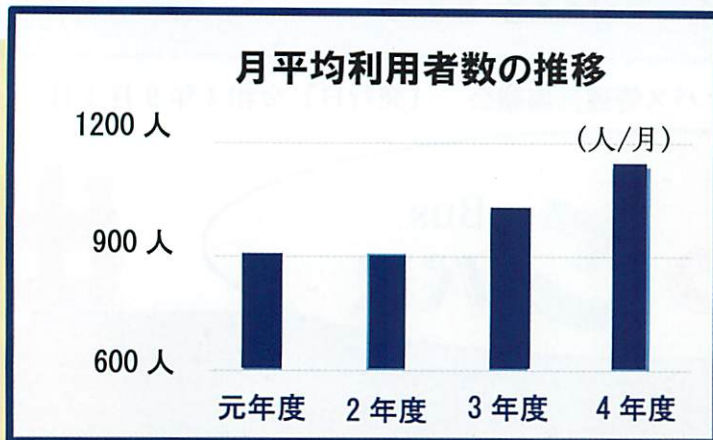
令和元年9月に試行運行が始まった“ぐるっとバス”は、念願の本格運行に移行しました。地元の皆さんら70名余が集まる中、来賓の柴橋正直市長から、「利用者の増加はうれしいこと。更に皆さんに便利なコミバスを目指してください」とのご挨拶をいただきました。また、主催者の松久忠弘運営協議会長からは、「多くの皆さんのご協力で本格運行にこぎつけることができましたこと感謝申し上げ

げます」、服部康夫副会長からは、「道路が狭く運行困難な山手地区の対応について、引き続き検討していきたい」など、感謝や今後の運営について、挨拶がありました。

試行運行開始後、新型コロナウイルスの影響も受けましたが、感染予防対策を徹底した結果、利用者は再び増加しました。ありがとうございました。今後とも皆さんのご利用・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※コミバス通信は、企画から編集まで地域の皆さんが役割分担し、手づくりで発行しています。

利用状況 初めて月間利用者数が1,200人を超えました!



試行運行を開始した令和元年9月から令和2年度までの月平均利用者数は、約900人ですが、令和4年度4~7月の利用者数は1,100人を超えました。特に4月は1,213人と初めて1,200人を超えました。
※元年度は9月からの7カ月間、今年度は7月までの4カ月間の集計。



▲早い梅雨明け、夏空の下を走行中(6月27日)

令和3年度の運営状況(収支報告・その他)



昨年度(令和3年度)の運行経費は1,252万円(12,516,120円)でした。経費は、運行単価が324円/kmで、年間運行距離38,630km、運行日数296日から計算されます。収入は260万円(2,599,409円)で、内152万円(1,519,595円)が広告料、108万円(1,079,814円)が乗車利用料金でした。運行に係る経費と収入額の差引き992万円(9,916,711円)が、市からの赤字補填となります。

【新型コロナ感染対策】

“ぐるっとバス”を運行している㈱日本タクシーでは、皆さんが安心してご利用いただけるよう、車内消毒などの抗菌・抗ウイルス対策を実施しています。

利用者の皆さんには、マスク着用や発熱時の利用を控えるなどのマナー徹底をお願いします。あわせて、こまめに水分を摂るなど、熱中症予防にも気を付けましょう。

今年も車両広告に協賛いただきありがとうございました

地区の独自収入の60%を占める車両広告は、コミバス運営に欠かせない貴重な収入源です。運行にご理解をいただき協賛いただきました皆さん、厚くお礼申し上げます。

【ご協賛いただいた皆さん(順不同・敬称略)】

原尾不動産、神谷新聞店、今井整形外科、岩砂病院・岩砂マタニティ、三田洞歯科医院、岐北厚生病院、藤垣クリニック、増田医院、かとう整形外科クリニック、ふじさわクリニック、平成調剤薬局、カワサキ保険センター、米金商店、中島建築、萩建設

8/1(月)から市内のコミュニティバス全地区において、200円で1日何度でも利用可能な「全地区共通一日乗車券」が、通年で販売されました。

コミバスを乗り継いで遠出してみませんか。(全地区の運行図は、岩野田、岩野田北公民館で閲覧できます(通信8号もご参照ください)。

<お知らせ> コロナワクチン接種のため、60歳以上の方がコミバスを利用される際、



つながる①

地域の絆を生む活動を、「ぐるっとバス」で訪ねます。第1回は、近年話題の「子ども食堂」です。

地域の「子ども食堂」…覗いてみませんか？

「子ども食堂」は、子どもが1人でも行ける無料か低額の食堂のこと。子どもへの食事提供や食育、地域交流の場などの役割を果たしているのが「子ども食堂」です。この活動は、全国5,000カ所以上に広がっていると言われ、NPO法人など民間を中心に運営され、地域や自治体が応援する活動も見られます。

私たちの地域でも、食材の寄付をいただくなど、地域の応援のもとに“Oneぱくキッチン”の名で2カ所で開設されています。社会福祉協議会と食生活改善推進員の皆さんも、運営に参加協力。現在は、調理したお弁当を持ち帰っていただいています。

コロナが一刻も早く終息し、「一緒に調理し、みんなで食べる」、「みんなで交流・遊ぶ」という本来の姿に戻る日を心待ちにしています。

食堂は、子どもたちだけでなく、地域の誰もが無料で利用できます。
どちらの食堂も、「ぐるっとバス」の停留所のすぐ近く。
皆さんも一度覗いてみませんか？



この日は「きのこカレー」▶

岩野田と岩野田北地区の「子ども食堂」開設場所(令和4年7月末日現在)

名称・停留所	開設場所	開設日時等	問い合わせ先
Oneぱくキッチン 「八幡洞入り口」下車	「岩砂ローズガーデン」(栗野西8-132・済法寺西200m)	毎月第3土曜日午 前11時30分～ (参加費無料)	(医療法人社 団)友愛会 One ぱくキッチン 事務局 ☎231-2670
Oneぱくキッチン 「栗野口」下車	岩野田地域包括支援センター“You & Iの森 いわのだ”(栗野東5- 173-1 栗野郵便局すぐ南)		

子どものために、こんな活動も…“わおん学習支援室”

「コミュニティカフェ・わおん」でも「おとなも子どももOK食堂」を開設していましたが、コロナ禍により活動を休止。現在は、塾代を捻出するのが非常に負担となるご家庭の小中学生の頑張る気持ちを応援するために運営している「わおん学習支援室」で、参加者に食事を提供しています。

その活動について、運営している杉浦さんにお話を伺いました。

「わおんには今、小学生～高校生まで合計10人が登録していて、週3回、毎回来る子もいれば、月に2、3回の子もいます。教科書や学校のワーク、タブレットなどを各自が持ってきて、それぞれのペースで取り組み、サポーターが学習を見守ります。勉強に気持ちが向かないときは、サポーターさんとお話したり、時にはゲームをしたりと、気持ちの拠り所になればと思っています。」



栗野東5丁目244(栗野郵便局西側) ☎ 237-1661

「ぐるっとバス」 「栗野口」下車

「コロナワクチン接種券」の提示で、運賃が無料になります【令和4年9月30日まで】。

週4回利用しています

山田裕子さん(三田洞東1丁目)

♥私は、コミバス運行以前は、最寄りのスーパーまで30分程歩いて行っていました。ぐるっとバスが運行されてからは、団地集会所のバス停を週4回ほど利用しています。バス停までは約300mあり、福富トンネルに向かう道を横切り、団地の坂を上って行きます。♥バス停へは少し早めに着くようにしていますと、数人が集まりだし、自然と顔見知りになり、会話も増えだし、今ではお友達となり、お茶やおしゃべりを楽しんでいます。♥“ぐるっとバス”さん、ありがとうございます。私の生活にはなくてはならない“ぐるっとバス”。♥いつまでも運行されますようお願いしています。



わ

た

し

の

乗

車

体

験

記

乗り方を教えてほしい

村山暁子さん(90歳、岩崎山手バイパス近く)

♥“ぐるっとバス”の運行表を大事にしていますが、その見方が分かりませんでした。バス停で待っていたところ、「この時間は行く方向(トミダヤ)とは反対回り」とのこと。この日は自宅に戻りました。♥高齢者にも分かりやすく口頭で説明していただけるとありがたいのですが…。♥友人たちは、①「バス停が遠く乗り降りに苦労するので、バスが通っているところならばどこでも止まって欲しい」②「路線の都合で用事が1カ所だけしかできないが、2、3カ所一緒にまとめてその日にできると良い」などそれぞれの思いがあり、私もうなずいて聞いていました。♥岩野田・岩野田北地区にある各所・施設など、バスでゆっくり「ぐるっと」周れることを楽しみにしています。

私と“ぐるっとバス”

大洞範男(84歳・栗野東1丁目)

♥年に10回くらい、岐北厚生病院の内科と眼科に予約通院して、今年で15年になります。朝の9時か9時15分からの予約時間に間に合うよう、バロー発8時30分(第1便始発)に乗車します。ただ、天気の良い日は、自家用車を運転して行きます。♥診察が終わるのは10時30分前後になり、第2便(左回り)の病院発では間に合わないことが多く、歩いて帰ることが多いのですが、常々ウォーキングに取り組んできたので、今は歩くことは気になりません。

♥いずれ運転免許の返上となれば、利用頻度が高くなる“ぐるっとバス”の存続を期待しています。

▶病院に到着



体験記をお寄せいただき

ありがとうございます(運営協議会)

♥山田さんの体験談のように、「コミバスが取り持つ縁」を、私たちも大切にしていきたいと思います。♥大洞さんのような通院にコミバスをご利用いただいている方も多そうですね。ウォーキングや運転も現役という生活の中で、コミバスを生活様式に上手に取り入れていただいているようです。♥村山さん、ご提案ありがとうございます。今回は、原稿をいただきに伺った際に、疑問点にお答えしましたが、今後もコミバス通信で乗り方をPRしたり、社会福祉協議会の行事(いきいきサロン)や老人クラブの集まりなどで話題にしたいと思います。♥ご指摘の途中乗車は、残念ながら道路運送法により認可が下りません。なお、道路が狭く運行できずに停留所が遠い山手地区については、運営協議会において、対応を検討しています。

編

集

後

記



地域が主役 みんなが主役



♥念願の本格運行に移行できました。試行運行期間中(令和元年9月～4年3月)までの累計利用者は29,487人で、今年度は、月に1,100人を超えています。♥運行を継続するには、運行経費に対する収入の基準を満たす必要があります。現在は、地区収入の60%を広告料で賄っていますが、運賃収入を増やし、広告料に追いつきたいものです。♥引き続き利用促進のためのPR、説明を行うとともに、高齢者の方々から寄せられるご意見・ご提案をうかがいながら、コミバスの利便性向上に一層努めていきたいです。次の目標の10万人達成に向けて、みんなで取り組んでいきましょう。